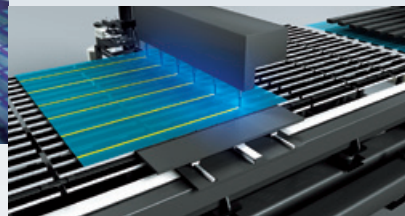




BUSINESS REPORT

第25期 株主通信

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日



CONTENTS

ごあいさつ P1
財務ハイライト P2
更なる成長を目指して P3
セグメント情報 P5
新分野／業績および配当の予想 P9
株式の状況 P10

株式会社ブイ・テクノロジー
(証券コード:7717)

イノベーションで 想像を超える 未来へ

代表取締役 兼 社長執行役員
杉本 重人



2022年3月期 決算のご報告

当連結会計年度における世界経済は、全体としては「ウィズコロナ」が進み緩やかな回復傾向で推移しました。しかし、ウクライナ情勢の深刻化、米国の「量的引き締め」方針による米国及び各国経済への影響懸念、中国の「ゼロコロナ政策」の行き詰まり及び主要都市のロックダウン開始などにより、世界経済の先行き不透明感はさらに強まりました。

当連結会計年度の当社グループの連結業績につきましては、売上高は514億1千8百万円(前期売上高551億8千6百万円)、営業利益は54億6千1百万円(前期営業利益66億4百万円)、経常利益は58億6千8百万円(前期経常利益68億3千6百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は41億9千8百万円(前期親会社株主に帰属する当期純利益35億1千3百万円)となりました。

当連結会計年度の当社グループの受注金額は、532億円(前期369億8千万円)となりました。この結果、当連結会計年度末の受注残高は427億2千1百万円(前期409億3千9百万円)となりました。

今後は、成長分野で新事業・新製品を立ち上げ、グループの持続的な成長の実現を目指し、3つの課題(1.半導体関連事業の成長促進、2.収益基盤としてのFPD関連事業の安定化、3.社会課題解決型ビジネスへの挑戦(新分野参入))を解決し、収益構造の変革を実現します。

引き続き、株主の皆様のご期待に添えますよう、大いなる志とあふれる情熱で、世界最高のイノベーションを想像し、社会に貢献していく所存です。

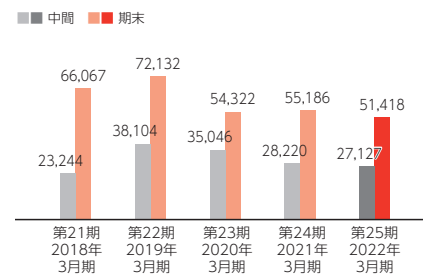
一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2022年6月

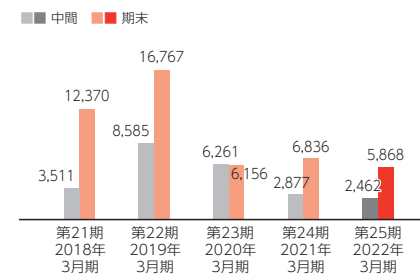
代表取締役 兼 社長執行役員 杉本重人

財務ハイライト(連結)

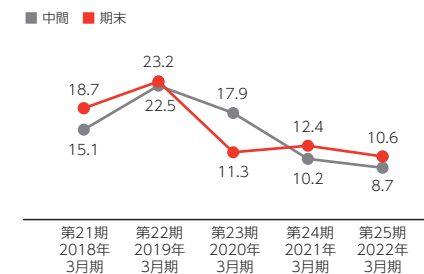
売上高 (百万円)



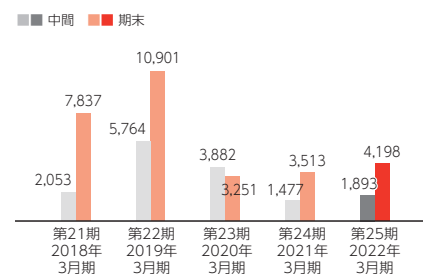
経常利益 (百万円)



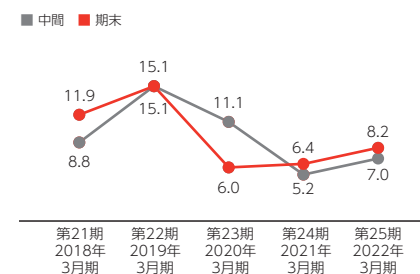
経常利益率 (%)



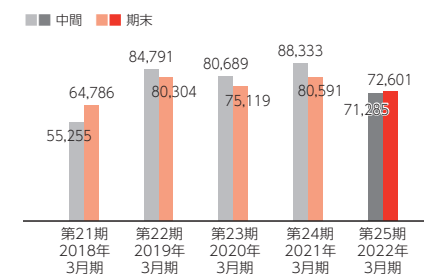
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



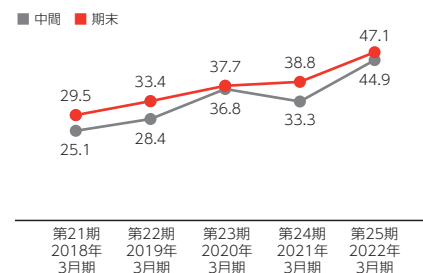
親会社株主に帰属する当期純利益率 (%)



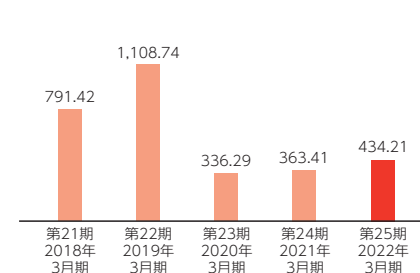
総資産 (百万円)



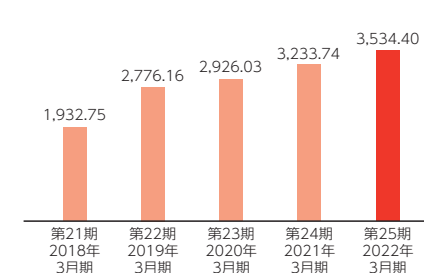
自己資本比率 (%)



1株当たり当期純利益 (円)



1株当たり純資産 (円)



収益構造の変革

成長分野で新事業・新製品を立ち上げ、グループの持続的な成長を実現します。

1. 半導体関連事業の成長促進
2. 収益基盤としてのFPD関連事業の安定化
3. 社会課題解決型ビジネスへの挑戦(新分野参入)

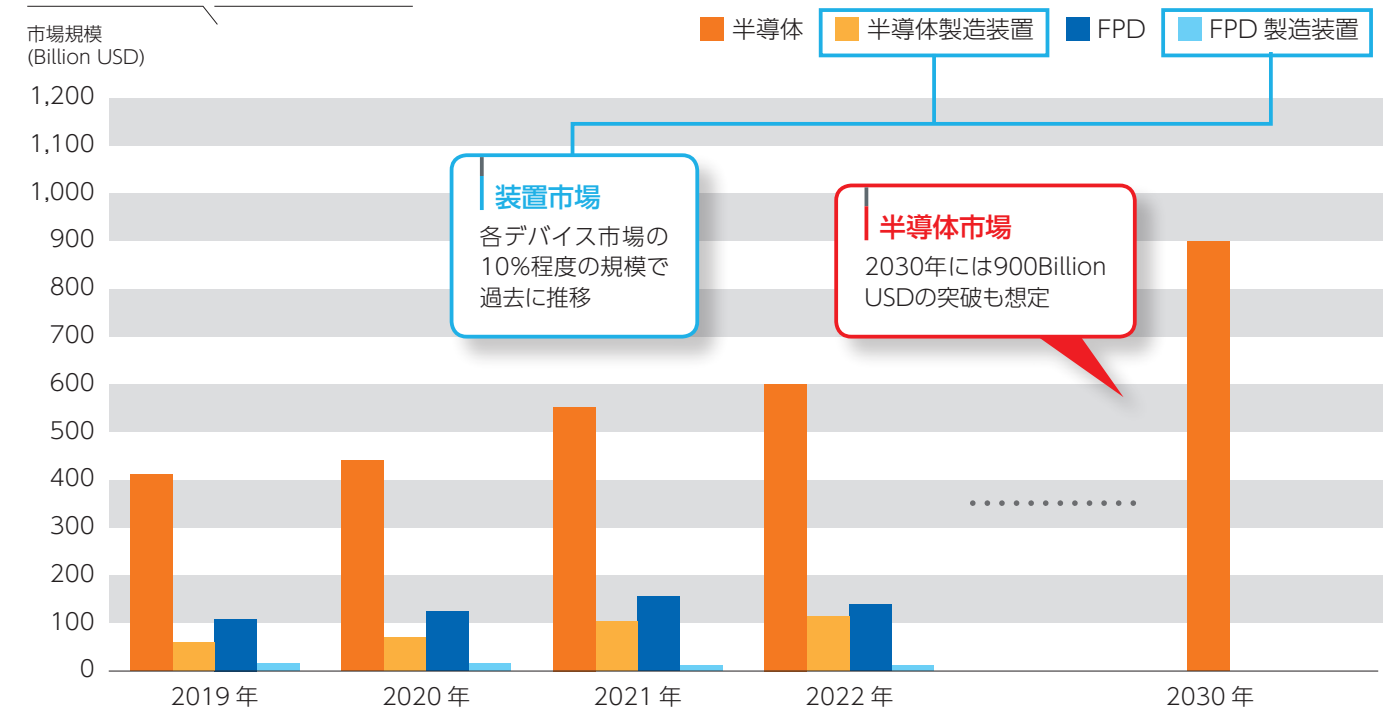


半導体・FPD市場動向

半導体・FPD市場は、技術進化と社会のデジタル化進展で、成長が続きます。

- FPD・半導体は、情報・通信、車、エネルギー、情報インターフェイス等の基盤であり、技術進化とともに成長が続きます。また、半導体・FPDの製造装置の市場は、短期的には増減があるものの一定の規模感を維持しながら、成長が続くと考えられます。

半導体・FPD 関連市場の推移



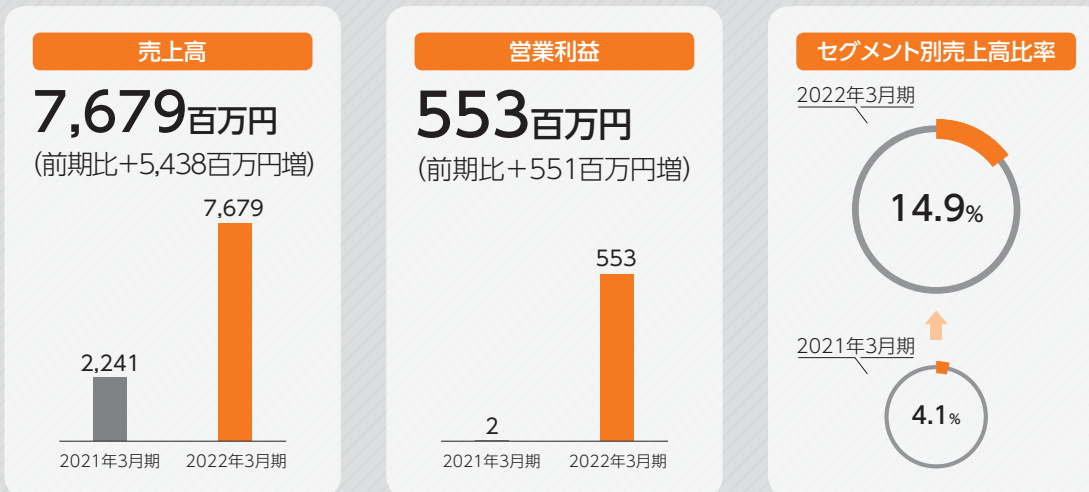
(2021年/ WSTI、SEMI、OMDIA各社、経産省等の予測資料より当社にて作成)

半導体事業

2022年3月期の状況

■ 事業環境

世界的な半導体不足等を背景にシリコンウェハ関連の設備投資等が堅調に推移した他、既存工場の増強等に関連した商談を進めました。好調な市場、シリコンウェハ検査装置、材料研究開発用のコーター・デベロッパ装置の優位性から、業績は前年比で急拡大いたしました。



■ 補足

- 子会社のナノシステムソリューションズとリソテックジャパンが、売上・利益とも躍進
- 利益率はのれん償却影響を除けば約11%
- 略称補足
NSS: ナノシステムソリューションズ
LTJ: リソテックジャパン

今後について

- VTグループとのシナジーで子会社本来の強さをグローバルに発揮します。
● 経営リソースの強化等により、子会社は順調にシェアを拡大

子会社の主な製品と対象市場

子会社名	NSS	Z-CSET	リソテックジャパン	
	ウェハ検査	研磨・研削	メモリーテスター	コーター・デベロッパ レジスト評価システム
主な製品				
対象市場	シリコンウェハ	テスター	フォトレジスト	

- コア技術と子会社の技術・事業領域とのシナジーで新製品を早期に投入、収益を拡大します。

コア技術とグループ会社技術・事業領域とのシナジー



FPD事業

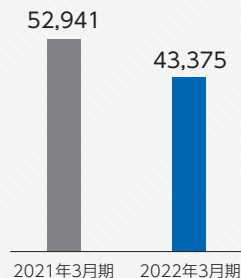
2022年3月期の状況

■ 事業環境

中国を中心に大型FPD関連の設備投資が続きました。また、新工場の建設計画や既存工場の増強や次世代技術に関連した商談も多くが継続されたものの、投資計画の遅れなどから成約までに時間のかかる案件が見受けられました。

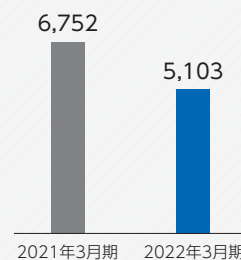
売上高

43,375百万円
(前期比18.1%減)

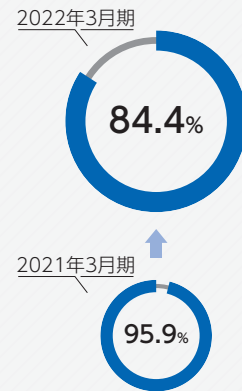


営業利益

5,103百万円
(前期比24.4%減)



セグメント別売上高比率



■ 補足

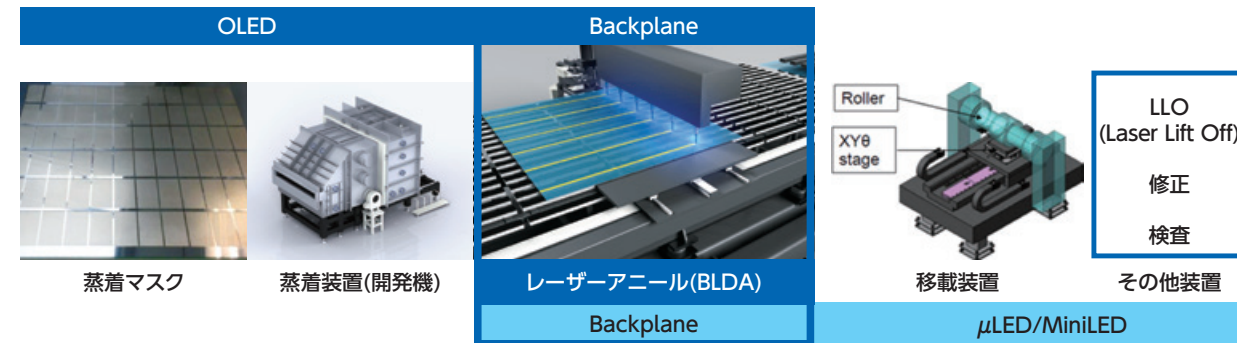
・中国でのコロナ感染再拡大やゼロコロナ政策、大型FPD投資減等の影響で減収減益となりました。

今後について

1 | レーザーアニール装置(BLDA)の開発を加速します。

- ・BLDAは、OLED、 μ LED、MiniLEDの全てで不可欠なBackplane (TFT基板) の性能向上とコストダウンに貢献する技術です。

OLED/ μ LED/MiniLEDの技術進化に寄与する当社の技術



BLDA(青色半導体レーザーアニール)の特徴

1. LTPSやIGZOと比較して、優れた電気特性を実現可能
2. ELAより高い電子移動度
3. 局所的(選択的)アニールでCu配線へのダメージ低減
4. Top-GateとBottom-Gateに対応
5. 低ランニングコスト/1年以上メンテナンスフリー
6. 基板サイズはG2~G10.5までフレキシブルに対応可能

2 | LCD関連装置の差別化をさらに進め、他の製造工程での採用拡大を目指します。

新分野

- ▶ 持続的な成長を実現するために、海外市場中心の電子デバイス製造分野と異なる事業領域で、国内市場をターゲットとした事業の立ち上げに挑戦しています。

農業(ブランドトマト栽培)

- ・アイメック®農法
- ・ブランド名「陽香」
- ・蘇州の農園にて栽培
- ・高糖度/高栄養価(リコピン他)
- ・中国ECにて3月より販売開始



脱炭素(SiC技術への投資)

- ・ネクスファイ・テクノロジー社へ資本参加
- ・2021年6月設立
- ・SiCデバイスを用いた高圧電源技術に強み
- ・国プロ支援/当社(135M円)及び阪大VCが出資

業績および配当の予想

- ▶ 中国ゼロコロナ政策の事業への影響を踏まえ、2023年3月期の予想を公表いたしました。中国コロナウイルス感染状況や顧客の動向を注視し、予想について精査を継続いたします。

連結業績予想	2022年3月期(実績)		2023年3月期予想		前期比増減率
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	51,418	—	45,000	—	▲12.5%
営業利益	5,461	10.6%	4,500	10.0%	▲17.6%
経常利益	5,868	11.4%	4,400	9.8%	▲25.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	4,198	8.2%	2,900	6.4%	▲30.9%
EPS	434.21円		299.92円		—
配当の状況	2022年3月期		2023年3月期		
中間	60円(実績)		60円(予想)		
期末	60円(計画)		60円(予想)		

株式の状況(2022年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 35,180,600株
- 発行済株式総数 10,057,600株
- 株主数 8,737名

大株主(上位10名)

株主名	所有株式数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,215,600株	12.1%
杉本重人	1,174,600株	11.7%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	650,100株	6.5%
モロフジ株式会社	128,600株	1.3%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	108,171株	1.1%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	80,180株	0.8%
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	75,110株	0.7%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	73,600株	0.7%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	68,500株	0.7%
ブイ・テクノロジー社員持株会	63,700株	0.6%

当社は自己株式256,195株を保有しておりますが、上記から除いております。また、持株比率は自己株式(256,195株)を控除して計算しており、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

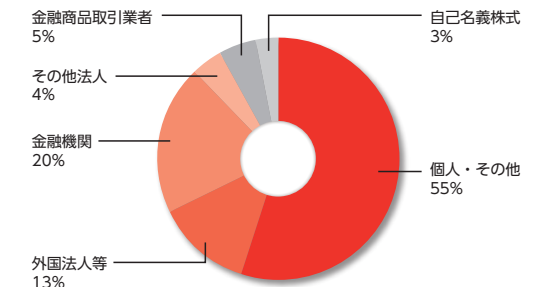
株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <https://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 株式所有者別分布



会社概要 (2022年3月31日現在)

社 名 : 株式会社バイ・テクノロジー
設 立 : 1997年10月16日
本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークウイーストタワー9F
TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

取締役会

代 表 取 締 役	杉 本 重 人
取 締 役	天 日 和 仁
取 締 役	神 澤 幸 宏
取 締 役	城 戸 淳 二
取 締 役	西 村 豪 人

※城戸淳二および西村豪人は社外取締役です。

監査役会

常 勤 監 査 役	中 原 有 庸
監 査 役	大 倉 修 和
監 査 役	住 田 勲 勇
監 査 役	宇 田 賢 一

※大倉修和および宇田賢一は社外監査役です。

執行役員

社長執行役員	杉本 重人
常務執行役員	米澤 良
常務執行役員	天日 和仁
常務執行役員	神澤 幸宏

執 行 役 員	天野 勇
執 行 役 員	水村 通伸
執 行 役 員	松元 康博
執 行 役 員	伊藤 行男
執 行 役 員	大淵 一人
執 行 役 員	飯野 仁
執 行 役 員	田口 和明

執 行 役 員	永井 一馬
執 行 役 員	張 尚敦
執 行 役 員	後藤 順
執 行 役 員	菅井 健
執 行 役 員	羽森 寛
執 行 役 員	芳賀 一実
執 行 役 員	新井 敏成

WEBサイトのご案内

IR関連のニュースリリースや各種IR資料がご覧いただけるほか、新事業やESG等の取組みについて多数掲載しています。ぜひご覧ください。

TOPページはこちら



IR情報ははこちら

